

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020092

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	A		
単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	汚水処理施設共同整備事業(環境衛生係)		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	4	住民生活課	
事業主体	町		関係課	11	町有施設整備室	
事業指標	事業進捗管理			10	建設水道課	
事業目標	予算執行状況		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	汚水処理施設共同整備事業 ・構成町村における協定の締結 ・負担金等の請求事務 ・公共下水道事業特別会計に対する負担金等の支出					・構成町村における協定の締結 ・負担金等の請求事務 ・公共下水道事業特別会計に対する負担金の支出
	事業費(千円)	6,008	0	0	0	6,008
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	2,700				2,700
	その他	1,575				1,575
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	982				982
	その他	2,400				2,400
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	汚水処理施設共同整備事業負担金 汚水処理施設共同整備事業債	【評価・実績】				
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				予算執行状況
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	0%	0%	0%	0%
		事業進捗状況				57%

事業名	汚水処理施設共同整備事業(環境衛生係)	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	安井雅憲
		評価者 作成者 職氏名	環境衛生係長	山口雄也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町、興部町、西興部村3町村共同による汚水処理施設共同整備	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	稼働に向けた事務進捗状況	
【抱える課題やニーズは】	現施設の西紋別地区環境衛生センターの老朽化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新たな施設の整備	① 構成町村における協定の締結	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	汚水処理施設の稼働に向けた協定締結及び負担金請求により汚水処理施設の稼働		目標値	100%
			実績値	100%
			達成度	100.0%
		② 負担金等の請求事務	目標年度	平成29年度
			目標値	100%
			実績値	100%
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	構成町村における協定の締結	雄武町、興部町、西興部村3町村による協定の締結		
	負担金等の請求事務	汚水処理施設共同整備事業負担金の請求		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	現施設の西紋別地区環境衛生センターの老朽化に伴い、町単独で新たな施設整備をすることは費用が高額であり困難なため、3町村でのMICS事業による新たな施設の整備が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	汚水処理施設の稼働に向けた協定締結及び負担金の請求事務を遂行したため、有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	3町村の共同整備により、事業費の抑制及び人員削減が図られているため効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
<input checked="" type="checkbox"/> 人員削減		
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全町民を対象としているため公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
<input type="checkbox"/> 受益者負担がない		
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
汚水処理施設の稼働に向けた協定締結及び負担金の請求事務を遂行したため、事務の進捗が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
汚水処理施設の稼働に向け、今後も継続して施設整備を進める必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止